

各国アカデミーのデータリスト (2014年更新暫定版)

①基礎情報

アカデミーの名称		創設年・根拠		会員数				機能				使命	組織形態 政府との関係		年間予算							
邦文名称	英文名称	設立年	根拠	会員	外国人会員 (外数)	名誉 会員	その他	提言・助言		調査・研究		奨学金 助成金		栄誉 顕彰	社会における 役割・責務	法的地位	政府機関への帰属	総額	公的資金	民間資金	その他	
日本学術会議	Scienc Council of Japan (SCJ)	1949	日本学術会議法	210	0	0	約2,000 (連携会員)	○	科学者の代表機関として、政策決定者に対して、科学者としての専門的かつ信頼性のある政策提言を行う機能を持つ。	△ (アンケート調査等)		×		×		政府機関	特別の機関	約10億5千万円 (平成26年度予算額)	全額国庫負担	0	0	
全米科学アカデミー	National Academy of Sciences (NAS)																					
英国王立協会	The Royal Society, UK	1660	勅許 (https://royalsociety.org/about-us/history/royal-charters/)	~1430	~160	6	6 (Royal Fellows)	○	英国、ヨーロッパ、国際的な政策決定者に対して、公式または非公式に、独立性・適時性・信頼性のある科学的助言を行う科学政策センター (Science Policy Centre: SPC) を備えている。 (https://royalsociety.org/policy/)	×	研究者への資金提供は行いが、直接的に研究活動は行わない (「奨学金・助成金」部分を参照)。	○ (科学者支援)	○	メダル、賞、受賞者講演会 (https://royalsociety.org/awards/)	科学の卓越性を認識、促進、サポートすること。人類の利益のために科学の発展と利用を促進すること。 戦略的優先項目として、質の高い科学・興味探求型の研究・社会の利益のために科学の発展や利用にコミットメントすることを挙げている。 優先項目は次のとおり。 ・科学及びその利益の促進 ・科学の卓越性の認識 ・優れた科学(研究)のサポート ・政策への科学的助言 ・国際的、グローバルな協力の促進 ・教育と民間部門の関与(パブリック・エンゲージメント)	独立した科学者団体であり、自治機関として英国で登録されている英国の慈善団体。英国の国を代表する科学アカデミーである。		7,060万ポンド (FY2013-2014) (https://royalsociety.org/about-us/reporting/)	独立性を確保するため、様々な財源がある。FY2013-2014の収支の内訳は次のとおり。 ・4,710万ポンド(議会からの助成金) ・630万ポンド(助成金) ・570万ポンド(出版) ・460万ポンド(投資金) ・280万ポンド(寄付金) ・380万ポンド(会議開催による収入)			財務詳細は、財務担当者による報告書を参照 (https://royalsociety.org/about-us/reporting/trustees-report/)
フランス科学アカデミー	French Academy of Sciences (FAS)																					
ドイツ科学アカデミー レオポルディーナ	German National Academy of Sciences Leopoldina	1652	2008年、ドイツ政府より国家アカデミーとして認定された。 ※外国人会員を含む	約1500 (2014年10月10日現在)	315 (約200名はスイス・オーストリア出身)			○	国家レベル・国際レベルで、声明・提言・イベントを通じて、独立して政策的助言を行う。	○	人文科学における長期的基礎研究を行う(科学史)。	○	博士課程修了した研究者へのレオポルディーナ奨学金プログラム、ジャーナリストのための科学講座("Driving into Science" 2012-2016)	○	カール・フリードリヒ・フォン・ヴァイツェッカー賞、レオポルディーナ若手アワード、医学ティーマ賞、若手科学者レオポルディーナ賞、科学史 Georg Uschmann 賞、名誉会員、名誉賛助者、7つのメダル(例: Carusメダル、Cotheniusメダル)。	社会的、政治的関係性のある問題に影響を与える科学者の見解を取りまとめる、公正かつ適時な科学的意見を表明する。 レオポルディーナは、国際社会におけるドイツの科学者コミュニティの代表であり、人類の利益やよりよい未来のために科学の進歩を追求する。	非営利組織	独立	約9,000,000ユーロ(公的資金)			
リンチェイ国立アカデミー (イタリア)	National Academy of Lincei	1603	1944年9月28日の法令(n.359) Decreto legislativo luogotenenziale 28 settembre 1944, n. 359	199	172	1	173 (連絡会員)	○	科学や科学政策について、政府の諮問を受けて行う場合と、自発的に行う場合の両者がある。科学的事柄に関して、大統領の組織アドバイザーの役割を担っている。	○	通常、応用研究に直接的に関与しては行かないが、科学イニシアティブの促進と支援を行う。	○	幾つかの研究用グラントがある。	○	科学及び文化の分野での賞を授与している。	リンチェイの定款に基づき、文化的統一性及び普遍性の枠組みの中で、科学的知見の推進、調和、統合、普及を行う。	公的、独立機関	非政府組織だが、文化遺産省の影響下にある。				
カナダ ロイヤルソサエティー	RSC, The Academies of Arts, Humanities and Sciences of Canada																					
ロシア科学アカデミー	Russian Academy of Sciences(RAS)																					

※各国アカデミーへのアンケート調査に基づき、日本学術会議事務局において作成。

②政府への政策提言、政府からの諮問について

アカデミーの名称		政府への政策提言について			政府からの諮問について		
邦文名称	英文名称	個別の体制 (グループ、パネル、セクション、専門家リストなど)			求められた情報を収集する個別の体制 (グループ、パネル、セクション、専門家リストなど)		
			委員数	職業・専門		委員数	職業・専門
日本学術会議	Scienc Council of Japan (SCJ)						
全米科学アカデミー	National Academy of Sciences (NAS)						
英国王立協会	The Royal Society, UK	<有> 英国・ヨーロッパ・国際組織における政策決定者に対して、公式または非公式に、独立した立場から、信頼性のある科学的助言をタイムリーに行う科学政策センター(SPC)を備えている。王立協会会員の科学的専門知識に加え、会員及び外部専門家で構成される科学政策諮問グループ(SPAG)の助言を受ける。王立協会会員に加え、科学・産業・政策コミュニティ内における、王立協会の幅広い人脈を利用し、必要に応じて、特定のトピックに関する専門家グループが招集される。	SPC…30名 SPAG…15名 (https://royalsociety.org/about-us/governance/committees/science-policy/)	SPCのメンバーは、科学、国際・教育政策に関する特定の専門知識を備えている。SPAGのメンバーは、自然科学、社会科学、人文科学、科学出版・産業を含む様々な専門分野から任命される。会員は、自然科学・医学・数理科学、工学分野から選ばれる。	<有> SPC		
フランス科学アカデミー	French Academy of Sciences (FAS)						
ドイツ科学アカデミー レオポルディーナ	German National Academy of Sciences Leopoldina	<有> ①6つの幅広い分野別(健康、生命科学など)の常任科学委員会:(産業界や一般社会からの著名人だけでなく、優れた科学者を含む)部門・分野・ワーキンググループで定期的にコンタクトを取り、政策提言のトピックを提案する。 ②時限的なワーキンググループ:(トピックにもよるが、他のアカデミー、科学機関、国際的なパートナーと連携し)声明や提言を行う。	レオポルディーナの会員及び外部の専門家(トピックによって人数は異なる)	各分野及びトピックに対応する専門家。	<有> ①6つの幅広い分野別(健康、生命科学など)の常任科学委員会 ②時限的なワーキンググループ	レオポルディーナの会員及び外部の専門家(トピックによって人数は異なる)	各分野及びトピックに対応する専門家。
リンチェイ国立アカデミー (イタリア)	National Academy of Lincei	<有> 特定のテーマ(エネルギー、環境、大学及び教育施設、研究など)に係る常任委員会では、政府の求めに応じ、また自発的に、科学や科学政策について政府に助言を行う。	各委員会ごとに約10名	委員会の委員は、通常アカデミー会員。一部、政府高官の場合もある。	無	-	-
カナダ ロイヤルソサエティー	RSC, The Academies of Arts, Humanities and Sciences of Canada						
ロシア科学アカデミー	Russian Academy of Sciences(RAS)						

※各国アカデミーへのアンケート調査に基づき、日本学術会議事務局において作成

③緊急時の対応について

アカデミーの名称		緊急時に、政府や関係する国際組織に対し、専門家が科学的な助言を行った経験があるか		緊急時に、政府や国民に対し、科学的な助言を行うことを規定した文書があるか			緊急時に対応する専任職員を事務局に置いているか				
邦文名称	英文名称	有無	「有」の場合	有無	「有」の場合			有無	「有」の場合		
			経験の概要		文書名	対象となる緊急事態の種類	科学的助言を行う専門家リストの有無		事務局員の総数	緊急時に対応する専任職員の数	緊急時における専任職員の職務の概要
日本学術会議	Scienc Council of Japan (SCJ)							無			
全米科学アカデミー	National Academy of Sciences (NAS)										
英国王立協会	The Royal Society, UK	無	【補足説明】 (王立協会は、緊急時に英国政府に科学的助言を行う正式な役割は担っていない。しかし、英国政府には、王立協会の会員を含む緊急時科学諮問グループ(SAGE)のような、緊急事態に対処する組織が置かれている。王立協会は、要請に応じて、科学コミュニティから適切な専門家を特定し、政府を支援する。さらに、王立協会の政策への取組は、緊急時における英国政府の機動能力と即応性を含む全般的なレベルで貢献している。) 従来、王立協会は、緊急時の対応をフォローアップする中で、科学的根拠の見直しを行っていた。	無	-	-	-	無 (前述のSPCメンバーがこの部分をカバーしている。)	-	-	-
フランス科学アカデミー	French Academy of Sciences (FAS)										
ドイツ科学アカデミーレオポルディーナ	German National Academy of Sciences Leopoldina	無	緊急の災害に対応する体制はないが、緊急時には、緊急声明や緊急提言を発出する。 ※緊急時の対応プロセスは、政策立案者や社会への助言に関する一般的なレオポルディーナのガイドラインに対応しているが、各段階は迅速に実行される。(こうした場合)通常、専門家グループは5~10名程度と少人数で、直接顔を合わせる代わりに、電話会議でやり取りを行う。(例:「エボラ出血熱に関する臨時声明2014」、「福島第一原子力発電所事故を受けたエネルギーおよび研究開発政策に関する提言」)	無	-	-	-	有	-	幹部会のメンバー12人	対応の必要性を議論し、対応方法を特定する。
リンチェイ国立アカデミー(イタリア)	National Academy of Lincei	無	-	無	-	-	-	無	-	-	-
カナダロイヤルソサエティー	RSC, The Academies of Arts, Humanities and Sciences of Canada										
ロシア科学アカデミー	Russian Academy of Sciences(RAS)										

※各国アカデミーへのアンケート調査に基づき、日本学術会議事務局において作成。